

令和3年度 “ふじのくに”^{しみん}士民協働 施策レビュー 改善提案とりまとめシート

1 基本情報

政策	政策 8 世界の人々との交流の拡大		
政策の柱	8-2 地域外交の深化と通商の実践		
議論した施策	(1) 地域外交の推進 (2) 世界の様々な国・地域との多様な交流		
実施日／班名	7月10日(土) 第3班	担当部局名	知事直轄組織 地域外交局

2 コーディネーター取りまとめコメント（コーディネーターが議論を総括して取りまとめ）

幼少期から国際文化に触れる機会を増やす^①など、人と人との交流を促進させることにより、県民の国際感覚を醸成する。

このためには、静岡県民としてのアイデンティティをしっかりと持つこと^②が重要であり、また、国際化に対応できる人材の育成も進める必要がある。

通商を拡大するという点においては、県内の名産品・特産品をしっかりとPR^③した上で、静岡ブランド、富士山ブランドとして、戦略的に海外に発信することが重要である。また、インバウンド、アウトバウンド双方向を視野に観光交流を進める^④必要がある。

国際交流に留まらず、地域外交の施策に対する住民の理解を得るため、日常的な働きかけ^⑤が必要である。

3 施策改善案（県民評価者が記載した改善提案シートの取りまとめ）

- ①県民の国際感覚を醸成し、本県の地域外交の中核を担う人材の育成に繋げるためには、ネイティブ職員の活用により幼少期から海外の文化を学ぶ機会を提供するほか、青少年の活躍の場や海外との交流の機会を増やす必要がある。
- ②静岡県民としてのアイデンティティを持つためには、行政として国際感覚を身につける機会を提供することで、県民が海外の国や地域との文化の違いを正しく認識し、改めて本県の魅力を理解する必要がある。
- ③本県ならではの特産品等のブランド力の強化のためには、海外駐在員事務所の活用等により戦略的に海外にアピールする必要がある。
- ④インバウンド・アウトバウンドの双方向を視野に入れた観光交流のためには、重点6カ国・地域を中心に更なる友好関係を築き、相互にメリットのある交流を進める必要がある。
- ⑤県民が地域外交に対する理解を更に深めるには、県が実施した施策やそれにより得られた成果を分かりやすく広報する必要がある。